

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第1回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和6年6月27日に開催し、16名の川レンジャーが参加しました。午前中は釧路町岩保木水門付近において、遠矢小学校の4・5年生と一緒に「花咲かじいさんプロジェクト」へ参加しました。また、植樹の終了後に昨年植えた苗の成長観察を行いました。

午後は釧路市愛国西4丁目の釧路市愛国浄水場において、映像資料の観覧後、場内を見学しました。

晴天の下で記念撮影



「花咲かじいさんプロジェクト」の植樹活動に参加

「花咲かじいさんプロジェクト」による植樹は平成5年から行っています。今回は24のサークルが用意され、その内6サークルを川レンジャーが担当しました。まずは砂利のマルチング効果[※]や具体的な植樹の方法について遠矢小学校の児童たちと一緒に説明を受け、その後、植樹作業を実施しました。川レンジャーは4班に分かれて作業に当たり、1サークル4名で植樹や記録の作業を分担しながら、効率よく作業を進めました。その後、残り2サークルも全員で完成させました。快晴で少々暑くなりましたが常時風も吹いており、皆さん笑顔で作業を進められていました。今回の植樹ではミズナラやホオノキ、ナナカマドなど計29種、全体で240本の苗が植樹されました。



植樹の方法について遠矢小学校児童と説明を受ける川レンジャー



苗の植え付け作業と植樹の記録作業とを分担して、作業を進める川レンジャー



なかなか重労働です

マルチングの砂利をよけてから穴を掘り、苗を植え付けます。

※砂利のマルチング効果：土の乾燥・土の流出・雑草などの防止の他、土の保温・保湿効果による根の保護

■ 昨年に植樹した苗の成長観察

植樹作業の後、昨年に植えた樹木の成長を観察しました。植え付け時の苗は大きくても20cm程度でしたが、成長の早い種類の樹木では、この1年で腰ほどの高さまで大きくなっていました。成長の早さに「大きくなっている！」と皆さん感動されていました。



成長観察



大きくなったハンノキ



小さい樹木の成長を促すため周囲の草をよけました。

■ 釧路市愛国浄水場見学

午後は釧路市愛国浄水場を見学しました。見学行程の前半は、映像やパネルなどの資料により浄水場の概要や歴史などについて説明を受けました。後半は実際に施設内を見学し、浄化方法や水質管理体制などの説明を受けました。愛国浄水場では最終的なろ過工程に砂を使っています。定期的に砂の洗浄を行っており、今日はこの作業を実際に見ることができました。なお、愛国浄水場では現在、新施設を建設中です。水の浄化工程も大きく変わる予定で現在使用している砂による最終ろ過から、ろ過性能がより高い膜ろ過方式に変わります。



映像や実物を用いた説明を受けました。



砂によるろ過について説明を受ける川レンジャー



実際に砂に触る体験をしました

見学会の質問について浄水場から回答がありました（※👉：返答）

- ・浄水場が取水停止した場合、家庭ではどのくらい水を使えますか？👉最大で11時間です。
- ・どのくらいの津波高まで対応していますか？👉2m程度まで対応できます。

■ 観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありましたので、ご紹介します。観察活動は川レンジャー活動の柱であり、釧路湿原の河川環境維持に大変役立っています。今後も釧路湿原川レンジャーNewsで紹介していきますので、皆様からの報告をお待ちしております。

報告日	報告内容
2024年3月10日	市街地近くにおいてテレビの不法投棄を発見しました。
2024年3月20日	湿原道路沿いに、散乱したゴミとタイヤの不法投棄を発見しました。
2024年6月3日	釧路大規模運動公園内の木道に破損した部分を確認しました。釧路市都市整備部公園緑地課に報告しています。
2024年6月24日	イベントで釧路湿原に入る機会があり、「サワラン」を一輪、「トキソウ」の群落を観察することができました。トキソウは準絶滅危惧(NC)に指定されているそうです。